

「ひたちカレブの会」立ち上げの経過

超高齢化は教会も例外ではなく、老人問題を抱えています。そこで当事者である我々シニア世代が、まず学び、語り合う場として「福祉カフェ」を企画しました。日本基督教団日立教会の有志が実行委員会を立ち上げ、近隣の教会に呼びかけました。

まず茨城キリスト教学園のチャプレン、野口良哉師が賛同下さり学園内キリスト教センターと共催になりました。

会場は学園内キアラ館を無料で提供下さいます。また当企画は「大好きいばらき応援事業」に応募し、審査をパスして、助成金10万円を得、茶器や備品をそろえました。

第1回の「福祉カフェ」は8月1日、ナザレ園元施設長、菊池潔氏を迎えました。この時には「宇都宮カレブの会」から小川吾朗氏ほか3名の応援を頂き大いに励まされました。参加者はボランティアを含め43名でした。

会の特徴

超教派のクリスチャンとキリスト教に理解ある方を対象に、幸いな老後を目指して学び合い、絆を深め合う。日立市にキリスト教主義の福祉施設を実現する目標を持つ。

活動内容

「福祉カフェ」を毎月1回、開催する。高齢者福祉のエキスパートを招き、そのお話を基に活発な意見交換をなし記録に残す。毎回、抹茶を用意して希望者には茶道のおもてなしが体験ができる。くつろいで、生の音楽演奏や手話での合唱を楽しむ。